

災害対策本部機能

危機管理センターは、地震、風水害などの自然災害や原子力災害、テロなど、県民の皆さんの暮らしを脅かすような危機事案が発生したときに、自衛隊や警察、消防、DMAT（災害派遣医療チーム）、災害ボランティアセンターなどの防災関係機関が集結して、迅速かつ的確な対応を行う滋賀県の「危機管理の拠点」となります。

オペレーションルーム ①

県や関係機関の職員が一堂に会し、情報収集や対策の立案などを行います。室内には、大型スクリーンのほかモニタを各所に配置し、マルチ映像による情報収集を可能にしています。また、電話やパソコンなどの機材を常設し、危機事案発生時に直ちに対応に当たれるようになっています。



部屋の広さ 551.9㎡
収容可能人員 200人

災害対策本部室 ②

本部長、副本部長、本部員や関係機関などが集まり、情報を共有しながら、危機事案への対応方針や対策を協議し、決定します。



部屋の広さ 241.0㎡ 収容可能人員 80人

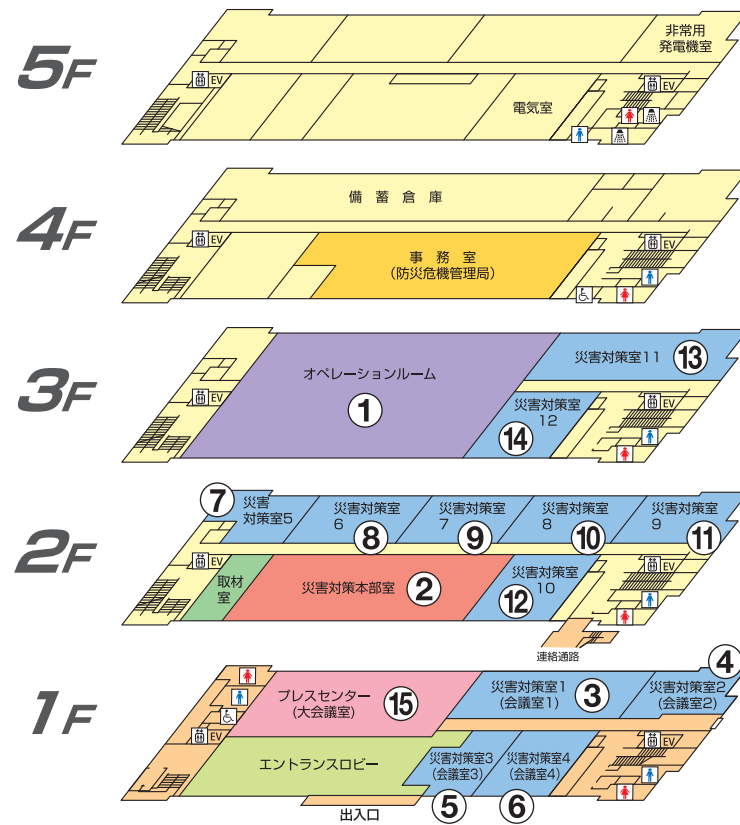
プレスセンター（大会議室） ⑮

災害時には、報道機関に向けて、被害状況や災害対応方針などを定期的に記者会見し、県民の皆さんの安全・安心につながる情報を発信します。平常時は、一番大きな会議室として、防災に関する研修などで一般の方もご利用になれます。

部屋の広さ 219.9㎡ 収容可能人員 102人



フロアガイド



災害対策室 ③~⑭

災害時に、自衛隊、消防や警察などの防災関係機関が活動する部屋として12室確保しています。2階の部屋間は、可動式のパーティションによって、部屋数や広さを自由に調整できます。



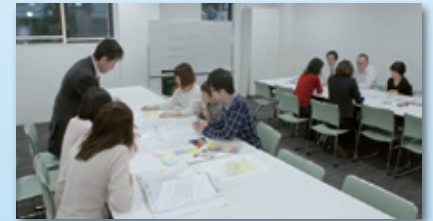
例 災害対策室5 部屋の広さ 69.3㎡ 収容可能人員 30人

研修・交流機能

平常時は、県民の皆さんや自主防災組織が地域防災力を高められるよう効果的な研修や交流、展示を行います。

研修

1階フロアでは、危機への対応力を高める関係者向けの研修のほか、県民や自主防災組織の皆さんが地域防災力を高めていただけるような研修を実施します。



交流

自主防災組織のリーダーや防災関係団体などが集まって、情報交換や交流などができる場として、1階フロアを一般向けに開放しています。



危機管理センターでは、「防災カフェ」を定期的に開催しています。地震や風水害などについて、専門家をゲストとして迎え、司会者との会話を通して解説するイベントで、夕方からコーヒーなどを飲みながら行います。

展示

1階エントランスロビーでは、生活防災に役立つ情報を掲載したパネル、手作りかまどベンチやさわって学べる教材などを展示しています。

